

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム すみよし	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 セイワ ・代表者名 理事長 石野 厚 ・住所 川崎市高津区末長1-3-13	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員 84 人) 在籍者数 82人(平成30年3月31日現在:入院等不在者を含む)																					
	<table border="1"> <tr> <td>介護度</td> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> <td>要介護5</td> <td>その他</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>36</td> <td>40</td> <td>0</td> <td>82</td> </tr> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	利用者数	0	0	6	36	40	0	82					
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計														
	利用者数	0	0	6	36	40	0	82														
②通所介護事業(通所定員 35人/日) 年間延べ利用者数 8,225人:定員に対する稼働率76.1%																						
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>580</td> <td>675</td> <td>662</td> <td>661</td> <td>692</td> <td>691</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>670</td> <td>701</td> <td>687</td> <td>678</td> <td>728</td> <td>800</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	580	675	662	661	692	691	延べ利用者数	670	701	687	678	728	800	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																
延べ利用者数	580	675	662	661	692	691																
延べ利用者数	670	701	687	678	728	800																
収支実績	③短期入所事業(通所定員 16人) 年間延べ利用者数 5,930人:定員に対する稼働率101.5%																					
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>490</td> <td>505</td> <td>498</td> <td>487</td> <td>491</td> <td>509</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>498</td> <td>518</td> <td>487</td> <td>460</td> <td>471</td> <td>516</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	490	505	498	487	491	509	延べ利用者数	498	518	487	460	471	516
		4月	5月	6月	7月	8月	9月															
	延べ利用者数	490	505	498	487	491	509															
延べ利用者数	498	518	487	460	471	516																
④居宅介護支援事業 給付管理者数(平成30年3月分)																						
<table border="1"> <tr> <td>介護度</td> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護4</td> <td>要介護5</td> <td>その他</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>管理者数</td> <td>24</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>63</td> </tr> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護4	要介護5	その他	合計	管理者数	24	15	14	8	2	63								
介護度	要介護1	要介護2	要介護4	要介護5	その他	合計																
管理者数	24	15	14	8	2	63																
サービス向上の取組	①特別養護老人ホーム事業 (収入)																					
	<table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>292,757,260</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>74,097,707</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>9,604,698</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>376,459,665</td> </tr> </table>	介護料収入	292,757,260	利用者等利用料収入	74,097,707	その他の事業収入	9,604,698	合計	376,459,665													
	介護料収入	292,757,260																				
	利用者等利用料収入	74,097,707																				
その他の事業収入	9,604,698																					
合計	376,459,665																					
(支出)																						
<table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>225,411,550</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>55,037,885</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>62,198,945</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>342,648,380</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>33,811,285</td> </tr> </table>	人件費	225,411,550	事業費	55,037,885	事務費	62,198,945	合計	342,648,380	(収支差額)	33,811,285												
人件費	225,411,550																					
事業費	55,037,885																					
事務費	62,198,945																					
合計	342,648,380																					
(収支差額)	33,811,285																					
②通所介護事業 (収入)																						
<table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>68,722,608</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>7,541,461</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>3,743,662</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>80,007,731</td> </tr> </table>	介護料収入	68,722,608	利用者等利用料収入	7,541,461	その他の事業収入	3,743,662	合計	80,007,731														
介護料収入	68,722,608																					
利用者等利用料収入	7,541,461																					
その他の事業収入	3,743,662																					
合計	80,007,731																					
(支出)																						
<table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>60,924,442</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>8,624,777</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>10,168,004</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>79,717,223</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>290,508</td> </tr> </table>	人件費	60,924,442	事業費	8,624,777	事務費	10,168,004	合計	79,717,223	(収支差額)	290,508												
人件費	60,924,442																					
事業費	8,624,777																					
事務費	10,168,004																					
合計	79,717,223																					
(収支差額)	290,508																					
③短期入所事業 (収入)																						
<table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>56,368,796</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>14,578,828</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>345,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>71,292,624</td> </tr> </table>	介護料収入	56,368,796	利用者等利用料収入	14,578,828	その他の事業収入	345,000	合計	71,292,624														
介護料収入	56,368,796																					
利用者等利用料収入	14,578,828																					
その他の事業収入	345,000																					
合計	71,292,624																					
(支出)																						
<table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>34,019,500</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>10,098,053</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>10,259,504</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>54,377,057</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>16,915,567</td> </tr> </table>	人件費	34,019,500	事業費	10,098,053	事務費	10,259,504	合計	54,377,057	(収支差額)	16,915,567												
人件費	34,019,500																					
事業費	10,098,053																					
事務費	10,259,504																					
合計	54,377,057																					
(収支差額)	16,915,567																					
④居宅介護支援事業 (収入)																						
<table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>9,608,183</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>433,624</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,091,807</td> </tr> </table>	介護料収入	9,608,183	利用者等利用料収入	433,624	その他の事業収入	50,000	合計	10,091,807														
介護料収入	9,608,183																					
利用者等利用料収入	433,624																					
その他の事業収入	50,000																					
合計	10,091,807																					
(支出)																						
<table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>18,178,974</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>23,314</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>1,016,133</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19,218,421</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>▲ 9,126,614</td> </tr> </table>	人件費	18,178,974	事業費	23,314	事務費	1,016,133	合計	19,218,421	(収支差額)	▲ 9,126,614												
人件費	18,178,974																					
事業費	23,314																					
事務費	1,016,133																					
合計	19,218,421																					
(収支差額)	▲ 9,126,614																					
(収入)																						
<table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>427,456,847</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>96,651,620</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>13,743,360</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>537,851,827</td> </tr> </table>	介護料収入	427,456,847	利用者等利用料収入	96,651,620	その他の事業収入	13,743,360	合計	537,851,827														
介護料収入	427,456,847																					
利用者等利用料収入	96,651,620																					
その他の事業収入	13,743,360																					
合計	537,851,827																					
(支出)																						
<table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>338,534,466</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>73,784,029</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>83,642,586</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>495,961,081</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>41,890,746</td> </tr> </table>	人件費	338,534,466	事業費	73,784,029	事務費	83,642,586	合計	495,961,081	(収支差額)	41,890,746												
人件費	338,534,466																					
事業費	73,784,029																					
事務費	83,642,586																					
合計	495,961,081																					
(収支差額)	41,890,746																					
サービス向上の取組	<p>○サービス向上のため、法人独自で費用を捻出し、施設設備等ハード面の整備を行った。</p> <p>○特養では、空きベッドを持たない基本方針のもと事前の情報確認の強化による退所後のスムーズな受け入れと、また、日常ケアと観察により入院者を減少させたことで特養と短期入所のベッドの年間合計利用率97.3%とした。</p> <p>○地域で行われる講座やイベントなどへ積極的な参加協力を通して、地域からの相談しやすい体制づくりを進め、事業理念である「集客から創客へ」を基に地域における福祉施設の理解と地域福祉の活性化にも努めている。地域の方々を対象とした「すみよしハートフル介護教室」を4回開催し延べ60名の参加を得た。</p> <p>○感染症発生予防に努め罹患者を出さなかった。</p> <p>○施設としての取組み全般について、神奈川県から県内の介護サービスの質や人材育成、処遇改善について一定の水準を満たしている事業所として「かながわ認証」の認証を受けた。併せて入所系サービス部門は神奈川県が主催する「ベスト介護セレクト20」を受賞。顕著な成果を上げた県内20事業所の一つに選ばれた。</p>																					

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8
感染症への対策は適切に行われているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>特養では、空きベッドを持たない基本方針のもと事前の情報確認の強化により退所後のスムーズな受け入れと、また、日常ケアと観察により入院者の減少により特養と短期入所のベッドの年間合計利用率97.3%とした。</p> <p>地域の方々を対象とした「すみよしハートフル介護教室(講義・体験形式)」を10月に4回に分けて開催し4日間で延べ60名の参加を得た。特養と通所では、施設見学と介護体験、食事形態の工夫や試食会など行ない、参加者から好評を得た。</p> <p>食事について、毎日選択食を実施し好評を得ている。その他毎月1週間は「おたのしみ食」として、ご当地料理や鍋パーティー、バイキング料理、季節ごとの行事食等を提供している。</p> <p>健康管理においては、利用者の日常ケアを通して培った「観察力」を基に、異常の早期発見・対応を心掛け、バイタルチェックだけに頼らない日常的な観察から体調管理を行なった。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	4	4
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>大型加湿器4台をレンタルしフロアに設置した結果、インフルエンザの発症を「0」に繋ぎ入院等による在所率低下を軽減した。</p> <p>度重なる修繕を必要とした冷温水発生装置や特殊浴槽を最新のものに交換したことで今後修繕費のコスト削減や消費コストの削減が見込まれる。</p> <p>館内の節電、資材の裏紙使用、備品の修繕再利用などの地道な日常的経費削減に取り組み、毎月の会議にて光熱水費の報告をすることで職員の意識啓蒙を図った。結果、年度末の光熱水費は昨年度比100万円減の成果を出した。</p> <p>毎月の会議にて各事業の利用率を報告し、全職員に施設経営に対する意識を高めている。</p> <p>特養・短期入所は引き続き重度者(要介護4・5)を積極的に受け入れ介護収入の増加を図った。入院・退所に伴う空床も短期入所に使用するように努めた。通所介護も定員を30名から35名に増やし地域のニーズに対応した。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	5	10
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか	10	4	8
		利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか			
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
<p>利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか</p> <p>(評価の理由)</p> <p>特養において職員介護負担軽減のため「頼れるところは頼る」を主眼に業務改革を実施。「介護ロボット活用・AI推進プロジェクト」を立ち上げ、川崎市福祉製品導入促進補助金事業を活用し、超低床ベッド2台と離床アシストロボットのモニタリングを行ない次年度につなげた。</p> <p>地域医療連携として受診・救急搬送率の高い「川崎市立井田病院・救急救命認定看護師」を講師に招き、自施設の救急マニュアルの再確認と、救急隊が到着するまでの対応を実践を通して研修した。</p> <p>災害時に備え「防火・防災管理委員会」を立ち上げ、積極的に外部研修に参加すると共に夜間を想定したマニュアルを作成した。</p> <p>特殊浴槽を最新のものに入れ替えたことから利用者・介護職員双方の負担軽減を図ると共に、これまでの入浴方法や入浴者を変更し業務改善に努めた。</p> <p>看取りケアの取り組みとして、利用者・家族の気持ちのケアを大切にして、家族との交換日記や居室内の彩りを添えたりなどして、(最期を迎える場所が)「すみよしで良かった」との家族からの声をいただいた。</p> <p>今年度も通所と居宅介護支援では利用者満足度調査を行ない、また意見箱や8月・11月・3月の年3回開催した「入所者懇談会」などで意見・要望・苦情などを把握し適切・迅速に対応した。</p>					

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	5	10
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か			
		実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
		個人情報の管理は適切に行われているか			
	<p>(評価の理由)</p> <p>職員が心身ともに健全な状態で利用者の生活支援していくために、介護・看護職員の配置を加配している。指定管理施設に係る基本協定事項であるセルフモニタリングシートの提出に際し、毎回シートの備考欄(所管課への連絡事項等)を活用し、施設の事業の状況、問題点の原因分析、対応策、改善策などを報告し、連携に努めている。</p> <p>前年度のインフルエンザ集団感染の教訓を踏まえ、早い段階から予防対策に着手。職員には相互扶助の観点から体調管理に努め無理して出勤して二次感染などにならないよう対策し、面会者にも「手洗い・うがい・マスクの着用」を徹底させ、環境面では大型加湿器を4台レンタルして湿度管理を行なった結果今年度はインフルエンザの発症をゼロに抑えることができた。</p> <p>神奈川県が主催する「かながわベスト介護セレクト20」を受賞したり、「かわさき健康福寿プロジェクト」に参加し要介護度の維持・改善に取り組み、利用者が「銀賞」を受賞したことで職員のやりがいにつながった。</p> <p>ナースコールをリニューアルしPHSを標準装備した機器になって大幅な安全改善を図った。</p> <p>事故発生した場合、事故対応を迅速に行った後その日のうちにカンファレンスを行ない、事故状況の確認と要因、再発防止策の検討を行ない、重ねて、毎月開催している事故防止委員会でも事故検証と分析を行なっている。</p>				
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
		<p>(評価の理由)</p> <p>施設設備については経年劣化による不具合が多数認められたが、委託業者と連携をとり、各種法定点検及び保守点検を確実に実施した。</p> <p>衛生委員会で各部署から、施設内の不安全箇所について挙げてもらい可能な箇所は職員が対応して修繕を行なった。職員が修繕することで修繕費の削減にもつなげた。また、冷温水発生装置や特殊浴槽を最新のものに交換したことで今後修繕費のコスト削減や消費コストの削減が見込まれる。</p> <p>施設設備の維持・管理については定期設備点検実施後に報告書の提出を義務付け、修繕履歴等についても見積書と併せて綴り、鍵のかかる書庫に保管し管理。保管期限の切れている個人情報については各部署の代表者が破棄を行い、倉庫のスペースを確保した。</p> <p>備品の整備等については、適宜修理更新を行うなど適正な管理に努めている。</p>			

4. 総合評価

評価点合計	82	評価ランク	A
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>昨年度に続き施設独自の負担で修繕等の工事を行い住環境の改善につなげている。</p> <p>地域貢献、社会貢献に努めている。</p> <p>職員の介護負担軽減を目的として「介護ロボット活用・AI推進プロジェクト」を立ち上げ、川崎市福祉製品導入促進補助金事業を活用し、超低床ベッド2台と離床アシストロボットのモニタリングを行なうなど、常に質の高いサービス提供と業務改善を心がけ、施設独自で設定した目標の達成に向け職員一丸となったの取組みに引き続き期待する。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし
